

WATER REVIEW 2022 FROM KUMAMOTO

第4回 アジア・太平洋水サミット 開幕プレ号

2022年4月22日(金)

日本水道新聞社
HPで無料配信

水の未来へ 熊本からの発信

23日開会式 天皇陛下がおことば、講演 岸田首相が出席

カンボジア、ラオス、ツバル、ウズベキスタンから首脳級が熊本に 30の国・地域が参加

「熊本宣言」へ議論

日本では15年ぶりの開催となる第4回アジア・太平洋水サミットが熊本市でいよいよ開幕する。

4月23日から二日間、熊本市・熊本城ホールにアジア太平洋地域から30の国・地域の首脳級および政府関係者、水の関係者らが集う。

テーマは「持続可能な発展のための水～実践と継承～」で、SDGs（国連・持続可能な開発目標）のあらゆる目標の達成に関わる水問題を幅広く議論する。

会議は首脳級会合・ハイレベル会合とともに主に九つの分科会（水と災害/気候変動▽水供給▽水と環境▽水・貧困/ジェンダー▽水と衛生/汚水管理▽ユース▽水と食料▽水と文化と平和▽地下水を含む健全な水循環）と五つのセッション（科学技術▽ガバナンス▽ファイナンス▽水関連SDGsとアフターコロナへの対応▽島しょ国）で構成し、成果文書「熊本宣言」を取りまとめる。

アジア・太平洋水サミットとは

アジア・太平洋水サミットの開催は、2006年にメキシコで開かれた第4回世界水フォーラムで、橋本龍太郎元首相がサミットの開催主体となるアジア・太平洋水フォーラムの立ち上げを表明したことが契機となった。アジア開発銀行とも連携し、日本の主導により枠組みを構築し、2007年12月に大分県別府市で第1回サミットが開かれ、第2回をタイ・チェンマイ、第3回をミャンマー・ヤンゴンで開いてきた。

第4回サミットは、2020年10月の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの世界的な流行により、延期を余儀なくされた。今回の開催もコロナ禍の状況を踏まえ、参集開催には慎重な判断が求められたが、感染拡大防止を徹底するとともに、オンラインツールを最大限に活用して、開催にこぎつけた。

熊本宣言は、2023年に開かれる「国連2023水会議」にインプットしていくこととしている。

国連2023水会議は、国連では46年ぶりとなる水問題を中心に議論する会合となる。世界の水の未来、そして水問題に対する日本の国際的なプレゼンスを維持・向上させていく上でも、熊本サミットの成果は大きな意味を持つ。

第1回サミットの成果は、その後の国内の水政策にも大きな影響をもたらした。

サミット開催後、与野党ともに水政策に関する研究の枠組みが次々に立ち上がり、「水の安全保障」をキーワードにした政策議論が盛り上

がりを見せた。

水をはじめとするインフラ技術の海外展開の機運の高まりも重なったことで国の制度、予算、学術研究など幅広い施策が大きく動くきっかけとなった。

15年ぶりの日本開催となる第4回サミットを契機とした国内の水政策議論の活性化という視点でも、サミットの成果が注目される。

注目される開会式

23日の開会式には、天皇陛下がオンラインで行幸される予定となっている。おことばを述べられるとともに、記念講演にも登壇される。

また、日本政府を代表して岸田文雄首相が参加し、あいさつする予定となっている。

天皇陛下は水に関する研究をライフワークとされており、世界最大規模の水に関する国際会議・世界水フォーラムにも数多く参加され、講演に立たれてきた。

岸田首相は、2014年に公布・施行された水循環基本法に基づき、政府内に設置する水循環政策本部の本部長を務める。開会式でのあいさつは今後の日本の水政策の方向性を示唆する上でも上下水道関係者の注目を集めることとなる。

国土交通省から齊藤鉄夫国土交通大臣（水循環政策担当大臣）、中山展宏国土交通副大臣、加藤鮎子国土交通大臣政務官も出席。首脳級会合をおよび各分科会に出席するとともに、参加国との二国間協議も活発に展開する予定で、水外交の成果が注目される。

各国からの参加者も続々と熊本に入る。

22日には、カンボジアのフン・セン首相、ラオスのパンカム・ヴィパヴァン首相が熊本空港に到着し、熊本市の深水政彦副市長が出迎えた。

このほか、ツバルから首相、ウズベキスタンから副首相が来日予定となっており、オンラインでブータン、ベトナム、ビデオメッセージでインドネシア、キルギス、スリランカ、タイ、タジキスタン、トルクメニスタン、ナウル、ニウエ、フィリピン、バングラデシュ、ブルネイの首脳級が参加を予定している。

サミットの主要な会合についてはオンライン配信も行われる。

また現地では、公開のシンポジウム、展示会、サイドイベントが行われるほか、ウェブ展示会も併催し、ハイブリッドで幅広いステークホルダーの参加を図る。

会議本体の参加者数は約1600人、サイドイベントを合わせると約3000人の参加が見込まれている。



熊本空港に到着した
カンボジアのフン・セン首相



熊本空港に到着した
ラオスのパンカム・ヴィパヴァン首相



会場となる熊本城ホールでは開催準備が進む

サミットの詳細
オンライン参加は
第4回
アジア・太平洋
水サミット
ウェブサイトから



<https://www.4apws-kumamoto2022.jp/>